

保育者と父母を結ぶ雑誌

2006年4月17日第3種郵便物認可  
2020年10月1日(毎月1回1日)発行

[特集]

主任さんは  
今日も走る

[小特集]

コロナ禍で  
公立保育所・  
保育者たちは

# ちいさい なかま

10月号

2020-NO.700



たんぽぽ保育園は、田んぼや畑が広がる自然豊かな地域にあります。25年間の認可外施設を経て、2018年4月に認可を受け、新たな土地に保育園を新設。新しい先生も2人増え、これから新年度が始まるというときにコロナが…。

職員の体調管理や園内の消毒、3密を防ぐことがむずかしい保育をどう考えるかなど、リスクを抱えて仕事をすることへの不安はつきません。職員会議は少人数で行い、書面でのやり取りが増えるなかで、ふだんの何気ない会話から子どものようすを知ったり、保育の悩みを共有できる会議がどれだけ楽しかったか…と、顔を合わせることの大切さに気づかされました。

また、8月に福島で開催することを楽しみにしていた第52回全国保育団体合同研究集会が中止になったことは、とても残念です。でも、今後も地域とつながりをつくっていくことは大切にしていきたいです。

自粛した生活の中で子育てや保育をしている保育者・職員、保護者のみなさん。毎日、本当に大変だと思いますが、無理をせず、みんなの力でこのコロナ禍を乗り越えていきましょう!!みんながいきいきと楽しそうに笑っている姿が何よりうれしいし、これからも笑顔がたくさん見られる保育園にしたいと、今、思っています。

福島県田村市

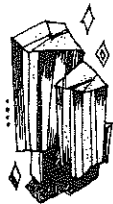
## たんぽぽ保育園

在籍数16名  
7:30~18:30  
ゼロ歳児~2歳児



# おしらせ

## 保育制度・政策の動き



### コロナ感染 さらなる広がり 各地の対応は……

コロナ感染は、7月後半から8月にかけてさらに広がってまいりました。

国は緊急事態宣言を出していませんが、愛知県や岐阜県、沖

繩県などで、独自の緊急事態宣言等が出されました。

感染の拡大、保育所でも

東京都や大阪府だけでなく、茨城県や千葉県、三重県、沖縄県などで、保育所での感染が確認されるようになってきました。

これに対し、自治体が、PCR検査を拡充するなどの独自の対策をとる動きが出ています。

沖縄県宜野座村では、村立保育所関係者の感染が8月5日に確認されました。これを受けて、宜野座村は、7日、保育所関係者を対象にPCR検査を実施し、150人が受診しました（『琉球新報』8月8日付）。

埼玉県は、これまで濃厚接触者に限定していたPCR検査について、同じ施設にいた人など感染リスクが高い集団へ対象を広げて実施する方針を発表しました。具体的には、保育所や幼稚園、医療機関、高齢者施設

など、感染拡大リスクや社会的影響が大きい集団を対象に、そこで複数の感染者が出た際、保健所が調査し濃厚接触者以外にも検査対象を広げるとしています（『埼玉新聞』7月29日付）。

東京都世田谷区は、区の医師会とも協議し、検査体制を大幅に拡大する方針を打ち出しました。世田谷区の保坂区長は「感染リスクの高い保育士や介護スタッフへの定期検査も実施したい」と語っています（『朝日新聞』7月31日付）。

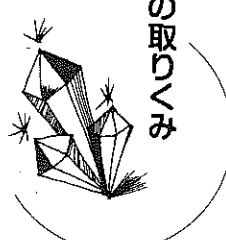
### 自治体独自の慰労金

保育所や学童保育所等の職員に対し、コロナ禍での業務に対する慰労金等を、補助する自治体が広がっています。山口県、愛知県、山形県など県レベルのほか、札幌市、秋田県由利本荘市、山形市、東京都練馬区、千葉県松戸市・佐倉市、神奈川県三浦市、群馬県沼田市、愛知県

大府市、福岡市などで、独自補助が広がっています。

その一方で、自治体によっては、これまで出されていた保育関係の補助金を削減する動きも出ています。自治体の方針・対応に注目しつつ、現場からの要望を伝えていく活動が重要になっています。

## 全保連の取りくみ



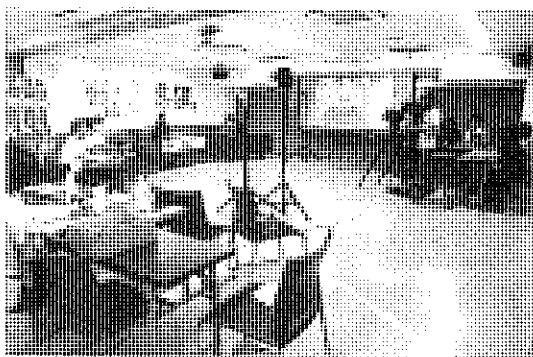
各地の力を集めて  
8月8日  
WEB合研開催！

8月8日に、「WEB合研」を開催しました。

保育プラザ2階をスタジオにして、各地をWebでつなぎ、そのようすをYouTubeでライブ配信しました。

第52回合研集会の基調報告をもとにしたシンポジウム「コロナ禍から見える保育・子育ての課題と私たちが大切にしたいこと」をメイン企画として、中西

イラスト—近藤理恵



新太郎さん（関東学院大学）、齋藤美智子さん（福島・さくら保育園前園長）、長瀬美子さん（大阪大谷大学）、大宮勇雄さん（福島大学）からお話しいただきました。現場の発言として、高知県から本山町立保育所保護者の川村祐奈さん、愛知県から自治労連保育部会、公立保育所保育士の武藤貴子さん、そして、東京・尾山台保育園園長の遠山拓郎さんにご報告いただきました。各地からはFAX・メールで多数の感想・意見が寄せられました。

WEB合研は、応援募金の一部を活用し、参加費無料で実施することができました。応援募金にご協力くださった個人・園・団体のみなさんに、あらためてお礼を申し上げます。  
※基調報告は全保連ホームページに掲載しています。

### 第52回合研集会の記録冊子 発行します

中止となった第52回合研集会の記録として、基調報告や実践レポートを掲載した記録冊子を発行します。福島県実行委員会の活動記録や、全国から寄せられた応援メッセージ（協賛広告）、そしてWEB合研のようすも紹介しています。

ご希望の方は、全国保育園団体連絡会までご連絡ください。  
頒価1000円（+送料）。

### 制度改善を求めて 国会請願署名に 取りくもう

2021年度の国の予算編成に向けて、保育・子育て予算の拡充を求める国会請願署名に取りくみます。コロナ禍のもとで明らかになった保育制度の課題

を改めて確認し、施設基準や職員配置基準の引き上げを求める声を世論にしていきたいよう。署名用紙は、9月初旬から発送できます。

### 九州豪雨災害 募金のお願いと 被災園の状況

7月4日に九州南部を襲った豪雨により、熊本南部では保育園にも大きな被害が出ました。そこで、救援募金をお願いしてまいりました。

寄せられた募金から取り急ぎ第一次分を熊本保育連絡会を通じて、被災した川岳保育園に届けていただきました。被災状況の写真と募金先を、全国保育園団体連絡会のホームページに掲載していますので、ご覧下さい。  
hoiku-zenhoren.org